



チューリップの球根植え

夏から秋にかけて咲き誇った百日草やマリーゴールド、ケイトウもう終わりの時期となりました。そこで来年度の春に向けて、12月3日（月）、4日（火）、2日間にわたりチューリップの球根植えを行いました。冬を越し、暖かくなった頃に、また丹波小学校の花壇がカラフルに彩られるのを楽しみにしています。



冬休みの過ごし方



あと数日で冬休み。あれこれと楽しく過ごすことを、児童なりに想像している時期でしょうか。

さて、冬休みは、児童が家庭や地域社会の中で自立心や社会性を身につける絶好の機会であり、地域の伝統や文化に接する貴重な体験や学習の場でもあります。一方、この時期は生活リズムの乱れやネットトラブル等の危険に巻き込まれることも予想されます。冬休みの過ごし方については御家庭でも話し合い、児童が安全で楽しく過ごせる冬休みになりますよう、御協力をお願いします。学校においても各クラスで指導を行い、終業式でも児童全員で確認を行います。保護者向けに別紙資料「冬休みの過ごし方」というおたよりも用意しましたので、是非御一読ください。

なかよしタイム

児童会で計画を立てた「なかよしタイム」を行いました。これは休み時間



全校で遊んで楽しむというものです。

1回目の主催は赤組。職員も仲間に加わり、「おにごっこ」を行いました。

職員の方が足が速いのですが、持久力

は児童の方がだんぜんあります。最後はへとへとになっている職員をよそに、児童は「またやりたい。」と。若さには勝てません。



2回目の主催は白組。校長先生より「もりもりタイム」でも教えていただいている、なわとびの「ダブルダッチ」に全校が挑戦しました。ダブルダッチは長縄を2本回し、そこに入って跳ぶという難しい技です。回し手（職員）と跳び手（児童）の息を合わせなければならないのですが、何度も挑戦する



中、全員ができるようになりました。



門松づくり



12月13日(木), 「門松づくり」を行いました。昨年度から船木昭和さんを講師に迎え指導をしていただいています。5・6年生の仕事は、土台に藁(わら)の束を取りつけること、そして藁で縄を編むことです。藁さえ持った経験がほとんどない児童ですから、縄を編むというのは至極苦難の技です。両手を合わせて滑らせるだけで簡単そうですが、なかなかうまくいきません。それでも数回繰り返すうちに、上手にできるものも出てきました。



3～4年生の仕事は飾りつけです。5つの飾り(松竹梅に南天、米)があったのですが、一番大事な松の飾りを任されました。松には神様が宿りやすいのだそうです。そもそも門松は、「年神様(毎年お正月に各家にやってくる豊作や幸せをもたらす神様)が迷うことなく家にいらっしゃるよう、目印にする」(by 日本文化研究ブログ)ことから始まったと言われています。

さて、見本で昭和さんが作ってくださった門松1基と、児童が講習を受け完成させた一基、合わせて2基は、12月下旬まで小学校玄関に飾らせていただきます。写真のように本格的な門松で、来客のどんなからも感心されるほどです。お忙しい中教えていただきました船木昭和様にはたいへん感謝申し上げます。丹波小学校児童職員、丹波山村の皆様の幸せを心から願います。



H30 児童会役員選挙

12月18日(火), 児童会役員選挙が行われました。

児童会長には現5年生の芦澤堅登さん、副会長には同じく現5年生の小川光希さんが立候補しました。堅登さんには現6年生の石井惇さんが、光希さんには現6年生の岡部結菜さんが推薦責任者となりました。2名の候補者とも来年度に向けて公約を掲げ、たすきを作り、推薦責任者とともに選挙運動も行ってきました。



選挙については11月の中頃から取り組みが始まりました。選挙管理委員は、現6年生の岡部菜々美さん、現3年生の石川冬馬さん、4年生の沖田泰永さん(途中転出)。3人の準備、計画、運営により、無事「立ち会い演説会」「投開票」が終了しました。

結果、どちらの候補も見事当選し、H31年度の新しい児童会長と副会長が信任されました。希望あふれる2人には、新たな決意のもと児童会活動を充実させ、このすばらしい丹波小学校の伝統を引き継いでほしいと願います。

